



市民委員会発足10周年号
平成13年6月発足から10年

わたしたちの町の情報源 うちら

平成23年 10月 1日

第21号

発行者 三中地区市民委員会文化広報部 / 市民委員会事務局 TEL 843-1233 FAX 843-1294

平成23年度三中地区市民委員会

総会が開催されました

平成23年6月4日に土浦市三中地区市民委員会の総会が122名の参加の下に開催されました。

総会に先立ち三中地区公民館運営委員会、三中地区市民委員会常任委員会にて総会の議事確認を実施しました。引き続き総会では、委員長あいさつ、議長選出、議事次第に従って進められました。最後に、「土浦市まちづくり市民会議」の議長に就任された川又文夫氏（元三中地区市民委員会委員長）の挨拶をもって総会は終了しました。



市民委員会とは「土浦市民憲章」の趣旨にのっとり市民自らの手によるまちづくり活動を行うために8つの中学校区ごとに設立された組織で、6つの専門部に分かれて活動を行っています。そのうちのひとつに私たちの住む「三中地区市民委員会」があり、年度始めに総会を開催し、年間の活動方針等を策

定しております。その活動の拠点が三中地区公民館（館長 細野賢司）です。

市民委員会組織は、顧問として市議会議員、学識経験者を迎え、委員長（三津井修二 西根南二丁目地区長）の下に地区長（町内会）をはじめとして、子ども育成会、婦人会、PTA、学校、高齢者クラブなど地域住民により組織されております。また、その代表の方々が公民館運営委員会委員として公民館の運営に参画します。

また、三中地区32の町内会は、中村ブロック（東小、中村小地区）と荒川沖ブロック（荒川沖小、乙戸小地区）に大きく区分し、三津井 修二前出・飯嶋 正之 荒川沖西二丁目地区長がブロック長を務めており、それぞれのブロックの集まりで、横の連携を図っております。

市民委員会としての最大の共通行事は「三中地区文化祭」です。文化祭の内容は実行委員会と協議され、専門部、各種団体（小・中学校、同PTA、同好会、子ども育成会、婦人団体、高齢者クラブ、商業・農業関係者）など多数の方が参加し、サークル活動での作品、工夫した展示物、演じもので、にぎやかに行われます。展示物は3日前から展示され自由に見学できます。最終の日曜日は日頃の同好会で鍛えた腕自慢、のど自慢を発表する芸能大会と最後に行われる豪華抽選会で大いに盛り上がりです。各町内へは回覧で案内されますので皆様の参加をお待ちしております。

主な日常の委員会活動は次頁に示します。六つの専門部が中心に行っております。

一本号の内容

- 「三中地区市民委員会」... 1
- 市民委員会専門部とその活動... 2
- 「みんなで協働のまちづくり」取材... 2・3
- うちの町紹介
「西根町二区」「中村南三丁目」「中村町八区」... 3・4
- 読者投稿コーナー「田植え・祭り・被災野球チーム招待」... 4・5
- 土浦市社会福祉協議会東支部の紹介・公民館の花壇の入賞... 6

歌声喫茶

「ヒットメロディーを歌おう」
のご案内
10月22日(土) 午後1:30~3:30
三中地区公民館にて開催予定です。

文化祭のご案内

11月17日(木)~20日(日)
三中地区公民館にて開催予定です。
ご期待ください。

各専門部の活動計画

【*】 共催事業

部長	【専門部名】主 な 事 業 名	文 化 祭
関根 純 荒川沖東二丁目 	【福 祉 部】 ①「ながみね」にて「いきいき健康体操」の継続実施 ②男の料理教室の開催（6月・10月 年2回） ③講演会の実施（12月予定） ④出前講座の実施（1月予定） ⑤移動学習会の実施（2月予定）	ダンベル体操、減塩料理試食会、福祉の店等
保坂 明洋 荒川沖西二丁目 	【安 全 部】 ①出前講座の実施（10月予定） ②救急救命（AED）講習会の実施（7月） ③「歌声喫茶」の実施（10月予定） ④「わいわいウォーキング」の実施（6月・7月・8月・9月） ⑤移動学習会の実施（3月予定）	芸能大会開催等 【*】 【*】
山崎 俊幸 荒川沖南区 	【スポーツ健康部】 ①ヘルシーボール講習（練習）会（10月～1月 4回） ②ヘルシーボール大会（2月予定） ③「わいわいウォーキング」の実施（6月・7月・8月・9月） ④「歩く会」体協と共催（3月予定）	子どもコーナー開催等 【*】
西村 良純 中村東町 	【環 境 部】 ①公民館の草取り（5月・7月・9月・11月予定） ②ゴミ拾い大作戦（11月・3月予定） ③「わいわいウォーキング」の実施（6月・7月・8月・9月） ④移動学習会の実施（11月予定） ⑤環境に関する講座の実施・ポイ捨て防止看板の掲示 ⑥「グリーンカーテン」の設置・グリーンカーテンコンクール参加検討 ⑦公民館花壇の整備&花いっぱいコンクールへの参加	農産物の即売、クリスマスリース作り等 【*】
相川 勇 中村東町 	【文化広報部】 ①公民館だより「うちら」の発行（9月、3月予定） ②移動学習会「文学散歩」の実施（9月） ③「歌声喫茶」の実施（10月予定）	児童作品等の展示 【*】
山田 由美子 西根南三丁目 	【青少年育成部】 ①チャレンジクラブへの協力（年10回） ②「講演会」と「おもしろ理科先生がやってくる」の合同開催（8月） ③乙戸沼野鳥観察会（1月予定）	子どもコーナー開催及び綿あめ販売等

◆ みんなで協働のまちづくり

土浦まちづくり市民会議総会の開催

5月29日、土浦市役所において総会が開催されました。

市民会議は各中学校地区を単位として組織されている市民委員会相互の連絡調整、意見交換及び共同事業の計画策定等を行い、市民自らの手による住みよいまちづくりを寄与することを目的としております。

組織は役員のほか、理事として各地区市民委員会委員長、小・中学校の代表者、学識経験者及び各地区専門部長の代表者、幹事として各地区公民館長（地区「ミニコミュニティセンター長」）であり、また各専門部は各地区専門部長をもって構成されています。

総会において、議長に元三中地区市民委員会委員長の川又文夫氏が選出されました。

今年度の事業等

- ◆ 花いっぱい運動（詳細は6頁）
- ① 花苗配布②コンクール開催

★ 三中地区からは公民館の花壇で最優秀賞受賞（環境部）

- ◆ 「土浦市の木・花・鳥」広報普及
- ◆ 市民憲章推進事業

- ◆ まちづくりの実践をたたえる表彰
- ★ 三中地区からは4名・1団体が受賞

三中地区市民懇談会

「うちのまちづくり」や「地区の課題」などを、土浦市の市政や「第7次土浦市総合計画後期計画」に反映させることを目的として土浦市の各地区で開催されている「土浦市まちづくり市民懇談会」が6月30日、三中地区公民館で午後7時から約2時間開催されました。

土浦市側は中川市長をはじめ、副市長、各部の部長・課長等執行部の皆さん約20名。一方、三中地区側は地区長をはじめ、PTA会長、町会の役員ら28名の皆さんが参加されました。三津井委員長が座長となり懇談会は始まり、次のような問題が提言されました。

- ①公園における中学生のいたずら、落書き、自転車の持ち込み等
- ②消防団の配置
- ③学校関連 プール・給食・校庭等の放射能に関する安全性の問題
- ④交通安全・通学路 国道6号の横断歩道・歩道橋に関する問題
- ⑤防災無線の問題 方向的に聞こえない、防災無線機器の配布
- ⑥7月から17時に音楽の放送
- ⑦荒川沖駅前のムクドリ対策
- ⑧土浦駅前については実施中
- ⑨住宅地の下水道の問題 浄化槽から下水本管への継ぎごみが遅れている場所がある等々

土浦市の活動に対し参加者からは
①市民委員会の活動により町内会や市民活動が活性化している

②通学路の安全対策 はみ出た植木の伐採、溝蓋のすき間の修正等速やかに解決した

③土浦市の一斉メールを活用し情報収集を行っている
等々の意見が出された。

当懇談会の案内は土浦市の公式ホームページの「お知らせ」で行っております。

取材 文化広報部長 相川 勇

うちの町紹介

①「中村南三丁目町内会」

当町会は、中村南二丁目と北荒川沖に隣接し、世帯数が264世帯ほどの住宅地です。又、一部の場所は国道6号線に通ずる地域で、大きなホームセンターもあり、とても便利な町であると思います。

近辺には土浦第三中学校があり、春には桜がとともきれいに咲いて、穏やかな気持ちになります。

さて、他の町内でも同じかと思われませんが少子高齢化の影響で、当町内では今年度の新小学1年生として入学されたのは2名のみでした。

年に1度の市民体育祭も選手の確保に困惑しているのが現状です。他の町

内との合同で参加する市民体育祭は、これからも続いて欲しいものです。

また、町内活動の防犯対策として毎週土曜日の夕方に防犯隊員による町内パトロールを実施しています。隊員がそれぞれの決められたコースを歩き、危険な場所・不審者が居ないかなどを見回りをしながら、町全体をみんなで声を掛け合い防犯パトロールを行っています。その効果で当町内の窃盗犯罪発生件数が土浦市生活安全課の情報で知る限り少なくなっています。これからも防犯の一環として住みやすい明るい町・きれいな町にしようと、町全体で心掛けようと思います。

その他、「三和クラブ」「おおぞら子ども会」「かけはし会」と町内の活動団体が栗畑にて、季節の花や芋苗の植え付け、草取りなど農地の手入れをし



ながら、秋の収穫祭に至るまで作業を続けています。秋の収穫祭では、子ども会をはじめ、各団体総出で焼き芋・餅つき・バーベキューなどの催しが行われます。町内の小さなイベントですが交流の場の一つであり、絆を深めるとても大切な行事です。

最後に、先の3月11日の東日本大震災で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。

地区長 安川 輝夫

②「西根町二区町内会」

西根町二区は平成元年にスタートし早いもので今年で23年目を迎える、心豊かで情の深い人々が暮らす緑豊かな農業中心の町です。町並みからは遠くにきれいな筑波山の山峰を見ることが出来ます。

発足当時は、子ども達も大勢いて夏祭り等盛大に行われていました。犬達もリードにつながれ小屋に静かにしている事も無く、自由に町並みを闊歩していました。

最近では、少子化や後継者不足等により町の行事も年々少なくなってきました。そんな中、子ども達の活動や春の花見会、秋の敬老会・市民体育祭や、お正月の新年会は良き伝統として、毎年町をあげて皆さん楽しんでいきます。

又、そば好きの人たちが集まり、そ

ば打ち同好会も年々盛り上がり、今年6月には約50名近くの友達で、そばを打つ人、茹でる人、食べる人達で大いに賑わいました。

婦人部の皆さん方もコスモス会で月に一回公民館に集まり、美味しいものを持ち寄り食べたり飲んだりしながら楽しいひとときに花を咲かせています。

最近では防犯にも力を入れてきており自主防犯隊も組織され、毎週金曜日には町を巡回し、皆さんの安全、安心を守っています。不審な者や車など発見したときは、土浦警察署と連携し精力的に活動しています。さらに青色パトロールも実施する程にもなり、年を重ねる毎に盛り上がりを見せています。もちろん、小学生の送迎や、お一人暮らしの高齢の方への訪問など活動の場も広がりをかせています。

巡回中には、キジの家族を見かける事もしばしばで、このすばらしい自然豊かな人情あふれる町をずっと継承していきたいものです。

地区長 重松 俊夫

③【中村町八区町内会】

私たちの町、中村町八区は土浦市に12ある原管アパートの中のひとつで、平成5年から平成9年の建築工事を経て、現在の全六棟、64世帯から成る地区として完成いたしました。

64世帯、190名（平成23年7月1日現

在）は土浦市にある地区別人口及び世帯数としては小さな地区に分類されますが、敷地内には公園・集会場を完備しており、公園では小学生が毎日遊んで、元気な声が絶えず聞こえております。

中村町八区では、次のような活動を通して、地域コミュニティの活性化に取り組んでおります。

■環境活動

- ・年2回（春・秋）の町内一斉清掃
- ・夏には育成会による公園清掃
- ・週2回のゴミ集積場清掃（当番制）

■地域安全活動

- ・週1回から2回の防犯パトロール（ゴミ集積場清掃担当による活動）
- ・育成会による小学生登校時横断指導と防犯パトロール（育成会にて行っております横断指導及び防犯パトロールはイーストガーデン地区と協力し実施をしております。）

その他活動として育成会を中心とした市民体育祭への参加。

以上のように、大きな町内活動はできておりませんが、自治会役員と育成会役員が協力し、円滑な活動を心がけております。

また、自治会役員の任期が1年と短い期間のため、住民の皆さんの協力あつての自治会運営となっております。今後中村町八区全員が一体となって地域コミュニティの活性化に努めてまいりたいと思います。

地区長 浅野 昌弘

読者投稿コーナー

◆第7回荒小5年生の田植体験



5月18日（日）例年通り東一丁目渡邊正信さんの水田で田植えに挑戦しました。65名の5年生に加え担任の先生も裸足になり一緒に

参加されておりました。

荒川沖東一丁目広報部員 古谷 浩

◆祭りは地域のふれあい

今年の三中地区の夏祭りは、震災関連で自粛して、開催費用の一部を被災地の方々に義援金として送られた町会や個人の方も多数おいでになると聞き及んでいます。

中荒川沖町は被災地の皆様へのお見舞いと、早期の復興を願いつつ、今回一日のみでの実施を試みました。山車の巡行も町内の主な通りのみとなりましたが、例年と変わりなく子供たちも楽しく行うことができました。

中荒川沖町 地区長 菅原 英幸

① 中荒川沖町



② 荒川沖西区



東日本大地震で被災した皆様への配慮から、荒川沖西区祭礼委員会は「縮小型」で夏祭りを決め7月30日（土）から二日間実施しました。

荒川沖西一丁目広報部員 春原 豊

③ 荒川沖南区納涼大会

毎年8月の第1土曜日を盆踊りと決めて親和会・消防団・子ども会・老人会など区民総出で公民館広場に檜を組



んでその周りを、老いも若きも曲にあわせて踊ります。町内の踊り教室の方に二日ばかり指導を受け、練習します。

お終いに飲み会を実施し町内の親睦を図りました。

荒川沖南区広報部員 林田 憲太郎

④ 中村南一丁目



中村南一丁目広報部員 高山 愛子

⑤ 西根南一丁目サマーフェスタ



⑥ 中村南四丁目



◇ 福島少年野球チームを招待



り大きな声で挨拶を交わすと準備運動から練習スタートです。迎える紺のユニホーム姿の永国ジャイアンツ、中村イーグルスとも元気に練習にはげんでいます。グラウンドにひびく監督、コーチの声、それを必死に聞いて大きな声で受け仲間と共に戦うスポーツ、ここで協調性、上下関係、その他色々な事が養われるのだなと感じました。さわやかな少年の姿は頼もしくうれいものです。

6月26日土浦市青少年の家にて福島県いわき市立小学校「いわき菊田キッズ」と当地区東小学校「永国ジャイアンツ」中村小学校「中村イーグルス」との少年野球チーム交流大会が開催されました。

福島県は原発事故の影響が有りますが、放射線への感受性が高い子どももの健康影響は大人の3倍と言われています。幸いにしていわき菊田キッズの皆さんは体育館とグラウンドで練習が出来るそうです。福島を早朝6時に出発し2時間かけて緑に囲まれた青少年の家のグラウンドに到着した少年達は、赤いユニホーム姿で元気よくバスを降



試合は進み、熱の入った所で楽しみのお昼です。永国ジャイアンツと中村イーグルスのお母さん達の手作りカレーです。美味しそうな香りがグラウンドに広がって子ども達のうれしそうな顔、おかわりを何度もしていました。デザートはスイカです。福島のお母さ

ん達もたいへん喜んでくれました。これを企画して下さったのは永国ジヤイアンツと中村イーグルスの監督さんです。すばらしい事だと思えます。帰りは芝生に丸くなり監督を囲んで3チーム和気あいあいと色んなお話をし、楽しい時間を過ごしました。楽しかった交流大会がアツと言つ間に時間が過ぎ、福島の少年達一行は喜んで帰って行きました。『ありがと』...と。

私は放射能の心配ない日常に早く戻ってほしいと願わずにはいられませんでした。

中村南一丁目広報部員 高山 愛子

社会福祉協議会東支部の紹介

土浦市社会福祉協議会東支部は、平成5年3月に発足し、平成13年4月から、三中地区公民館に職員を配置して地域密着型の福祉の相談窓口として、また、地域福祉活動の拠点としてさまざまな事業を展開しています。土浦市では、誰もが安心して暮らせるように、中学校地区を「福祉コミュニティ圏」と捉え、保健・福祉・医療の専門スタッフにより、要援護者や家族をサポートするために「ふれあいネットワーク事業」を推進して、小地域に福祉の相談窓口と総合的支援体制を整備しています。

三中地区の相談窓口が、三中地区公民館にある「社会福祉協議会東支部」

であり、必要な情報を提供したり、いろいろな相談に応じたり、必要な機関へつないでいきます。「こんな時どうしたらいいの?」と福祉について疑問・不安に思うことがありましたら気軽に三中地区公民館に相談・お問い合わせしてみてください。

社会福祉協議会東支部では、70歳以上のひとり暮らし高齢者の方や障害者の方を対象に月2回ボランティアサークル「コスモスの会」の皆様にご協力いただき、手作りのお弁当を配達し安否確認を行う宅配型食事サービス事業を実施しています。その他に、地域の交流やふれあいを高めるために、70歳以上の比較的元気なひとり暮らし高齢者の方を対象に、公民館や市内の老人福祉センターで一堂に会して食事を開催する会食型食事サービスやバスでの日帰り旅行を行うひとり暮らし高齢者交流会を開催しています。また、車イス・手話・アイマスク・高齢者疑似体験等の福祉体験を実施し、次世代の福祉の担い手として育成することを目的に子どもから大人まで幅広く福祉体験講座を実施しています。

今後、地域の身近な福祉の窓口として事業を展開してまいりますので、ご支援ご協力をよろしく願っています。

社会福祉協議会東支部 高橋 浩

公民館前の花壇が最優秀賞!

8月17日に、「第40回花いっぱい運動コンクール」(土浦市まちづくり



公民館玄関花壇

市民会議主催)の表彰式が国民宿舎「水郷」で開催され、地域の部において、市民委員会(公民館花壇)が、

また学校の部では荒川沖小学校が「最優秀賞」を受賞しました。このコンクールは、環境美化に対する関心・意欲を



環境部の皆さん

高め、花いっぱい運動を推進することを目的に実施されています。猛暑の中「環境部」の皆さんが一

丸となって取り組んだ成果が、今回の結果につながりました。

その他に三中地区内では次の団体が受賞されました。

【優秀賞】

- ★荒川沖東一丁目熟年会
- ★中村南三丁目かけはし会
- ★中村南三丁目三和クラブ
- ★中村南五丁目さわやか会
- ★土浦市ふれあいセンターながみね

【努力賞】

- ★さらさマンション店舗会
- ★乙戸小学校

受賞おめでとうございました。

◆編集後記

先の大震災で私は帰宅難民でした。その日は東京駅地下でのダンボール組となり大変な思いをいたしました。

【復興頑張ろう!】

市民委員会も6月で発足10年を過ぎ第21号の発行となりました。

創刊号から携わって参りましたが毎度の事ながら、紙面のレイアウト、記事内容のチェック等大変勉強させていただいております。掲載しました記事及び写真などに協力いただいた方々に感謝申し上げます。

この編集に参加してみたいと思われる方、大歓迎です。読者コーナーへの投稿も含め、三中地区公民館職員の方へお尋ねください。

編集担当 中荒川沖町 赤川 澄信